

学校名 霞ヶ関北小学校
 所在地 川越市伊勢原町5-1-1
 電話 049-231-1968

1 本校の概要

本校は、西図書館、伊勢原公民館との複合施設であり、オープンスペースのある広い教室など恵まれた施設設備の下、教育活動を行っている。併設されている西図書館と連携し、学校図書館を「ゆめのもり」、各階の読書スペースを「ゆめのひろば」と呼び、児童が様々な場所で読書に親しむことができるようにしている。

2 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・家庭や地域との連携

3 実践の概要

ア 朝読書「読書タイム」の実施

毎週月曜日の業前15分間を「読書タイム」に設定し、全校で読書に取り組んでいる。

イ 読み聞かせ「おはなしのへや」の実施

「おはなしのへや」を設定し、ボランティアの方による絵本、紙芝居、パネルシアター等の読み聞かせを行っている。「読書タイム」の時間を活用し、全学年対象に各学期1～3回程度実施している。また、低学年対象に、金曜日の業間休みに各学期にも実施している。



【読み聞かせの様子】

ウ 環境整備・掲示の工夫

利用しやすいようマップや分類法を掲示したり、季節に合わせたおすすめの本を紹介したりしている。



【分類法の掲示】



【季節に合わせたおすすめ本展示】

エ 読書月間の取組

- ・おすすめの本の紹介
- ・ゆめの森20選の活用

図書室で読んで欲しい本20選を各学年選出し、児童に紹介した。

- ・図書委員会の取組（読書集会・読書ビンゴ）

読書集会では、スクリーンに絵本を映し出し、読

み聞かせを行ったり、図書室利用や本に関するクイズを行ったりした。また、低・中・高学年向けに、めあてとしている本を進んで読むことができるよう、読書ビンゴに取り組み、ビンゴになった児童には、図書委員会で作成したしおりをプレゼントした。

・休み時間に「ミニ図書委員」として図書委員以外の学年にも本の整理を任せることにより、みんなで図書室の整理・美化の意識をもって利用できるよう取り組んだ。また、図書委員も、図書室の「プロ」として意識して取り組んだ。

- ・たてわりグループの読み聞かせ

読書タイムの時間に、縦割りグループの6年生が、同じグループに向けて、読み聞かせを行った。



【読み聞かせの様子】



【読書ビンゴカード】

オ 西図書館との連携

各学年が学習に合わせて学期に1～2回集団貸出を利用している。また、西図書館の方によるブックトークの実施や、西図書館を利用した学習も行っている。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・読書タイムの設定や読み聞かせの計画的な実施により、読書に親しむ環境づくりを行うことができた。
- ・読書月間で様々な取組を行ったことにより、読書に親しむ児童の姿が増えた。

(2) 課題

- ・読書月間に「読書ビンゴ」を行ったが、高学年の参加率を高める取組が必要だと感じた。
- ・「ミニ図書委員」の取組を始めたが、活躍する児童が限られてしまっているため、今後全ての児童が「ゆめのもり」をきれいに保てるよう、意識をもって活用させたい。